

無所属・無党派

ストップ赤字ハコモノ

■川村準の決意

中学2年で読み始めた「三国志」で歴史が好きになり、自分も歴史上の人物のように人の役に立ちたいと考えようになりました。高校生の時にパレスチナ紛争などを知り、世界で起っている様々な問題について調べ勉強をしました。それがきっかけで、海外の学校への進学を希望するようになり、米国の大学に入学しました。

米国では、私の大好きなバンド「レイジ・アゲインスト・ザ・マシーン」の「米国は二大政党にハイジャックされた」という言葉が印象に残りました。その言葉の意味は、二大政党で市民寄りの政党(政治家)がないということです。

一般市民の熱狂的な支持を受けて誕生したオバマ大統領は、リーマンショックの時に、大きな責任を伴う金融業の人々を多額の退職金で退場させました。そして、超高額所得者層寄りの政策を行うことで、上位1%の人間への富の集中が加速し、貧富の格差が広がりを続けている流れを現在も止められないでいます。

米国の大学を卒業した私は、日本人として世界に貢献したいという強い思いから日本に戻り、日本の企業に就職しました。帰国後、政治への関心は引き続き強く、日本の政治を注視していました。

そして2012年、民主党政権は自民党、公明党との3党合意で、マニフェストになかった消費増税法案を成立させました。日本も「二大政党にハイジャックされた」という気持ちが、自分の中で芽生えた瞬間です。

そうした中、仕事としていた新聞記者としての調査能力を活かし、地元のさいたま市議会のことを調べました。すると、さいたま市でも自民党、民主党、公明党だけでなく、共産党、改革フォーラムなど既存の**全ての会派・議員が、赤字が確実なハコモノを作り、大盤振る舞いの予算執行を行っています。**

会派に所属している議員は、会派拘束といって会派ごとに予算案等の賛否を統一しなくてはなりません。そうしたことも知り、私は、**会派に所属しない無所属議員がさいたま市には必要とされている、**と考えるようになりました。

私を育ててくれた地元さいたま市を、予算の大盤振る舞いで将来破綻させるわけにはいきません。私は、「全てのさいたま市議が(予算の大盤振る舞いで)ハイジャックした」さいたま市政で、**市民の目線で行動できるしがらみのない無所属の人間**として、政治活動を行うことを決意しました。



1987年11月生まれの27歳。旧・浦和市の大牧小学校、大間木中学校、都内の私立順天高校、米国のノースイースタン州立大学(オクラホマ州)卒業。工業系新聞社に就職し記者になる。現在は「さいたま変革の会」を設立し、さいたま市政の問題点を改善するために活動中。

- 尊敬する人：マハトマ・ガンジー、真田幸村
- 好きな音楽：B'z、ブルーハーツ、ビートルズ
- 好きな作家：司馬遼太郎、山本七平、塩野七生
- 好きな漫画：あしたのジョー、ドラゴンボール
- 好きなドラマ映画：古畑任三郎、半沢直樹、もののけ姫

川村準

川村準とさいたま市議会会派の政策比較表

	自民党	民主党	公明党	改革フォーラム	共産党	川村準
大宮盆栽美術館	○	○	○	○	○	×
岩槻人形会館	○	○	○	○	○	×
埼玉高速鉄道の延伸	○	○	○	○	○	×
下水道料金の値上げ	○	○	○	○	×	×
政務活動費の廃止	×	×	×	×	×	○
福祉の充実	○	○	○	○	○	○

結論

福祉の充実はどの会派も賛成しています。大宮盆栽美術館、岩槻人形会館、埼玉高速鉄道の延伸といった**赤字ハコモノと政務活動費の支給に反対しているのは川村だけです。**

川村準なら年間408万円の政務活動費は受けとりません！
不正の温床＝政務活動費の廃止を